

連携だより

平成30年 12月号

平成30年12月1日発行



外来スタッフ

独立行政法人 国立病院機構 
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <http://www.kure-nh.go.jp/>

E-mail renkei@kure-nh.go.jp

理念
相手の心情に寄り添う愛のある医療を笑顔で実践します
Practice medicine from the heart,
create smiles every day

運営方針

LOVE and SMILES

今月号のトピックス



- 自動採血・採尿受付機を導入しました（外来看護師長 山本智恵美） …… P 1
- 「第3回 地域医療連携のつどい」開催しました
（地域医療連携部長 中野喜久雄） …… P 3
- 神経内科紹介（第23回 世界筋学会年次集会報告～地球の裏側、
アルゼンチンから～）（脳神経内科医師 倉重 毅志） …… P 4

自動採血・採尿受付機を導入しました

外来看護師長 山本 智恵美

当院は、1日1000人前後の患者さんが外来受診されます。

中央処置室で採血等を受ける患者さんは、1日約320～400人であり、患者さんの中には検査や診療までの待ち時間が長くなることもあります。

そこで、10月1日より「自動採血・採尿受付機」を2台導入しました。

従来、中央処置室の受付担当看護師が患者さんひとり一人の検査内容を確認した上で、採血や尿検査の順番をお知らせしていたために時間が長くかかっていました。この自動採血・採尿受付機を導入することにより、検査までの待ち時間が短縮しました。

導入当初は、使用方法に戸惑う患者さんが見られましたが、職員による説明を繰り返した効果もあって最近は徐々に慣れてこられ、「便利になりましたね」という声が聞かれるようになりました。この自動採血・採尿受付機は、中央処置室前の廊下に設置しています。

操作方法

(1) 患者さんは、再来受付機で受付をされた後に患者案内票を受けとります。



(再来受付機：病院玄関付近に設置しています)

- (2) この「採血・採尿受付機」に患者案内票のバーコードを認証させます。
 - (3) 採血がある場合、採血整理券が出ます。この整理券の番号順に採血が行われます。
 - (4) 尿検査がある場合は検尿コップが出ます。
- 患者さんは中央処置室内にあるトイレで尿をコップに採り提出してください。



患者案内票のバーコードを認証させます

検尿があれば検尿コップが出ます

採血整理券が出ます

(自動採血・採尿受付機：中央処置室前の廊下に設置しています)

第3回 地域医療連携のつどい

地域医療連携部長 中野 喜久雄

第3回 地域医療連携のつどいは、昨年と同様にクレイトンベイホテルで特別講演会と懇親会を計画していましたが、7月の西日本豪災害のため懇親会は取り止め、当院の地域医療研修センターで10月18日開催しました。

参加された方のうち、院外からは43名で病院・クリニック・診療所の15施設、老健施設2施設、訪問看護ステーション3施設、居宅介護支援事業所・包括支援センター5施設と幅広い医療関係者の方にお越し頂きました。また院内からの参加は105名で、内訳は医師61名、看護師22名、理学療法士8名、事務部と地域連室職員14名でありました。

先ず院長の挨拶（写真①）に引き続き、今年4月から当院へ赴任された医師と看護師の紹介があり、代表して精神科科長 町野先生の挨拶がありました（写真②、写真③）。そして特別講演の講師として、国立長寿医療研究センター・在宅連携医療部長ならびに在宅医療・地域連携診療部長の三浦久幸先生を御招きし、「地域包括ケアシステムでの病診連携～アドバンス・ケア・プランニングの役割について」の御講演を頂きました（写真④）。



写真①



写真②



写真③



写真④

講演のまとめは、①これからの在宅医療と介護は、それに直接関わっている専門職が病院と協働し、さらに病院が地域と一体化して推進すること、②在宅医療の推進は患者本人と家族の意思決定や覚悟が重要であり、この意思決定に関して地域全体での情報共有（共有意思決定）が必要、③そのためにはアドバンスケアプランニングの普及が必要、④アドバンスケアプランニングの目標は、患者本人の価値観や目標や治療選択に合った医療を受けられるように手助けすること、でした。



写真⑤

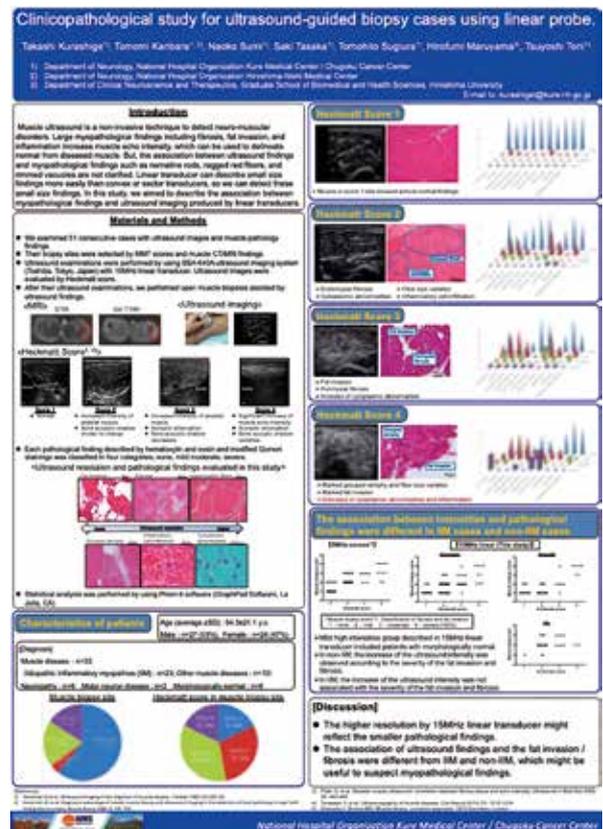
講演に対する質問は院外の方からもあり、活発な意見交換がされましたが(写真⑤)、現在、呉地域でのアドバンスケアプランニングの普及は十分とは言えません。その為には患者や家族だけでなく呉市民をも啓発する具体的な方策が必要と痛感しました。さらにアドバンスケアプランニングは、これまでの事前指示書と異なり承諾書を取る必要が無く、時々刻々と移り変わる患者の医療目標をカルテに記載するだけで良いことを御教示頂き、汎用性に富む方策と感じました。

地球の裏側、アルゼンチンから

脳神経内科 倉重 毅志

この度、日本から遙か遠くのメンドーザ市(アルゼンチン)で10月2-6日に開催された第23回世界筋学会年次集会(23rd Annual Congress of the World Muscle Society; WMS 2018)に参加してきました(写真①)。世界筋学会は筋疾患・末梢神経疾患・運動ニューロン病を集中的に取り扱う学会で、世界中から最新の研究成果が発表されます。当院からも毎年、研究発表をさせていただいており、今年も当院で検討中の「骨格筋での超音波画像と病理の相関関係」に関する研究発表をさせていただきました(写真②)。超音波での評価法の開発は、超音波画像を用いた研究が行われるようになってから世界中で検討されているテーマで、今年も多く研究者から質問を受けました。また、この学会は世界中の専門家の懇親も目的としており、私もCongress Dinnerでは他国の参加者と懇親を深めました(写真③)。

さらに今年も、年次集会前日にクヨ国立大学発生組織学研究所(IHEM)(写真④)で開催されたpre-congress teaching courseにもinvited memberとして参加してきました。Teaching courseと命名されていますが、毎年、世界の第一線で働く末梢神経疾患・筋疾患の専門家が集合しています。お互いが診断・治療困難症例を持ち寄り、WMSのexecutive board memberも参



写真② 今回発表したポスターです



写真① WMS2018会場入り口にて



写真③ NCNP西野ラボの現・旧メンバーと再会



写真④ Teaching courseの会場になったクヨ国立大学のIHEM (Histology and Embriology Institute of Mendoza)

加してディスカッションをしています。UCSD小児神経科のDr.Carla Grosmannも私と類似した症例を提示されたため非常に盛り上がり、帰国便まで議論が続きました（写真⑤）。

今回、Charite病院神経病理学のProf.Werner Stenzelに非常にお世話になりました。Prof. Stenzelは筋炎の病理の大家でWorld Muscle Societyのexecutive board memberの一人です。Prof.Stenzelは年次集会の後に来日され、Japanese Conference on Myositisで筋炎に関する講演をいただきました（写真⑥）。炎症性筋疾患は老若男女を問わず致命的になり得る疾患で、日本でも増加傾向にあり、治療可能になってきましたが、まだ謎の多い疾患です。当院でも多くの患者さんをご紹介いただいておりますが、常に困難に立ち向かいつつ診療をしています。

脳神経内科では、呉医療圏だけでなく、中国・四国地方をはじめとした西日本各地から数多くの神経筋疾患の患者さんをご紹介いただき、世界最先端の診断・治療を提供できるように日々努力しています。患者さんの多くは呉地区の開業医の先生方からご紹介いただいております。このような発表ができるのも皆様のご協力のおかげです。今後とも呉医療センター・中国がんセンター脳神経内科をよろしく願いたします。



写真⑤ Dr Grosmann (UCSD) と私
帰国便の中でまでディスカッションしました



写真⑥ Prof. Stenzelと日本で再会しました

消化器合同オープンカンファレンス

日時 平成30年 **12月5日 (水)** 19:00~

場所 呉医療センター・中国がんセンター管理棟4階 地域医療研修センター1・2

演題 「肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、
画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討」

症例1：広範囲に進展した胆管癌に対し肝左葉、
膵頭十二指腸切除術を施行した1例

症例2：食道ESD治療後、数年間の経過観察後に
多発性病変で発症した食道癌の1例

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間 8:30~17:15 0823-22-3111

土・日および夜間 17:15~8:30 0823-23-1020

呉心臓センター直通電話番号変更のお知らせ

呉心臓センターでは各医療機関様の医師と当院循環器専門医師が循環器疾患の救急対応を迅速かつ適切におこなうために、直通電話を開設しております。

救急患者の受け入れ依頼、循環器疾患の相談を循環器疾患専門医がダイレクトに24時間対応させていただきます。

どうぞ、ご遠慮なくコールをお願いします。

この度、平成30年4月より直通番号が変わりましたのでご連絡いたします。

24時間対応 080-4146-4030

なお、この電話は医療機関様と当院呉心臓センターとの連絡専用ですので、患者さんや出入りする業者の方にはお知らせいたさないようにご配慮をお願いいたします。

がんサロンのご案内

日時：12月14日（金） 場所：外来棟4階 第3研修室
14:00~15:00 内容：「運動をしよう！」

オストメイトサロンのご案内

日時：12月20日（木） 場所：外来棟4階 第3研修室
14:00~15:00 内容：「食事はどのようなことに
気を付ければ良いの？」

12月の時間外 研修会/勉強会

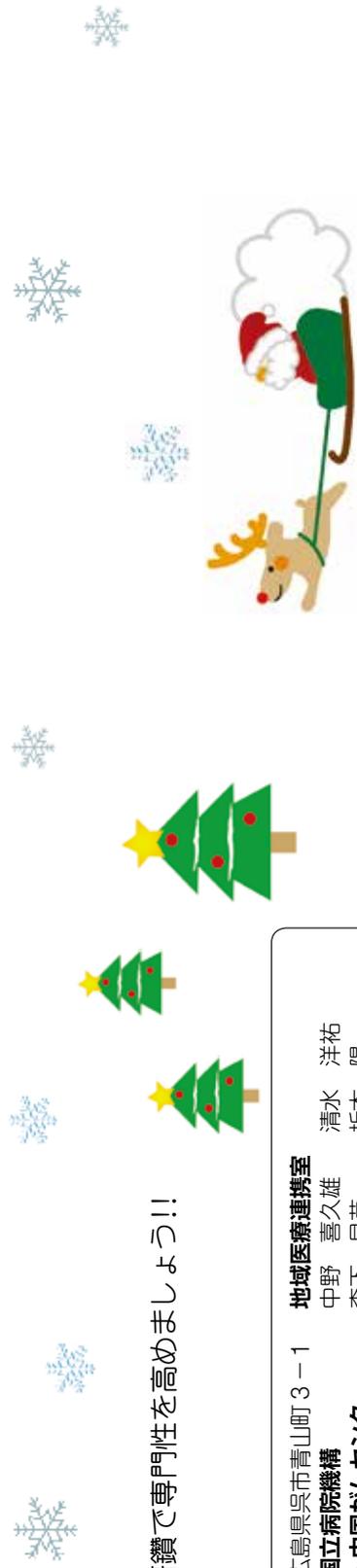


[連絡先]

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 庶務係 (教育企画室)
 広島県呉市青山町3番1号/TEL:0823-22-3111/ホ-ム-ペ-ジ: http://www.kure-nh.go.jp/



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外参加	対象職種
ハラメント研修	12月4日 (火) 18:00~19:00	地域研修センター1・2	大元・秋山法律事務所 大元 和貴 先生	管理課	○	全職種
消化器合同オープンカンファレンス 胆・肝・膵及び上部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各課で検討。	12月5日 (水) 19:00~	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器内科	○	全職種
コメディカルのお薬勉強会 「肝細胞がんについて」	12月10日 (月) 18:00~19:00	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 薬剤部調剤主任 家岡 昌弘	薬剤部	院内向け	看護師 助産師 コメディカル
第7回 TCSA勉強会 「クリニカルパスについて」 「腎疾患と栄養管理」	12月17日 (月) 18:00~19:30	地域研修センター1・2	呉医療センター・中国がんセンター パス委員会 腎臓内科	栄養管理室	○	全職種
ME機器安全使用に関する研修 「人工心臓-IABP-」	12月18日 (火) 17:30~19:00	11Fカンファレンスルーム	呉医療センター・中国がんセンター 主任臨床工学技士 半田 宏樹	ME管理室	院内向け	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1 地域医療連携室
 独立行政法人 国立病院機構 中野 喜久雄 清水 洋祐
 呉医療センター・中国がんセンター 森下 早苗 折本 陽一
 川島 美由紀
 TEL: (0823) 22-3816

